

**第7回ボルダリングユース日本選手権倉吉大会**  
**JMSCA スポーツクライミング競技規則 適用変更内容一覧**

該当条項	変更内容および注意														
第67条第1項	<p>ボルダリング競技会は、次の各号に定めるラウンドで構成されるものとする。</p> <p>(1) スターティング・グループごとに8ボルダーで構成される1つのコースで実施する予選。なお、ボルダー番号は難易度の順に、最も低いものを1とし、最も高いものを8とする。</p> <p>(2) 各カテゴリーにつき3ボルダーで構成される1つのコースで実施する決勝</p>														
第70条	※適用せず														
第72条	※適用せず														
第74条	※決勝のみ適用														
第76条	※決勝のみ適用														
第77条第1項	選手は自分が属するカテゴリーに割り当てられた8つのボルダーのうち、自分が希望する順に各ボルダーでアテンプトを行うことができる。ボルダーでのアテンプト前に、当該ボルダーを担当する審判員にスコアカードを提出し、スコアカードの提出順にアテンプトを行うものとする。ただし、審判員による呼出の際にアテンプトを行う準備が完了していない場合は、当該選手はその時点で当該ボルダーでのアテンプトを希望するすべての選手のアテンプトが終了した後に、アテンプトを行うか、別のボルダーでアテンプトを行うものとする。														
第77条 第2項～第4項	※適用せず														
第80条第1項	<p>ローテーション・ピリオド（競技時間）は、決勝では4分とし、予選では次の表のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>参加選手数（四捨五入）</th> <th>競技時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>55分</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>60分</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>65分</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>70分</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>75分</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>80分</td> </tr> </tbody> </table>	参加選手数（四捨五入）	競技時間	10	55分	20	60分	30	65分	40	70分	50	75分	60	80分
参加選手数（四捨五入）	競技時間														
10	55分														
20	60分														
30	65分														
40	70分														
50	75分														
60	80分														
第81条	選手は、決勝における当該ボルダーのローテーション・ピリオド内では、アテンプト回数の制限を受けることはないものとする。ただし、予選においては、各ボルダーにつき5アテンプトまでとするが、同一のボルダーで連続してアテンプトを行う必要はない。														
第95条	選手が当該ボルダーでの追加アテンプトを行なうことが認められる抗議は、予選の場合は当該選手の属するカテゴリーの競技時間終了前に、決勝の場合は次の選手がアテンプトを開始する前までに申し立てなければならない。 ——以降、省略——														